

うちなだ
議会だより

夏だ!
プールだ!
はじける笑顔



Vol. 134
平成30年〔2018〕
8月3日発行

石川県内灘町議会

北市與日本內灘町友好城市締結儀式

台灣竹北市・內灘町

友好交流始まる



竹北中學校



新竹県立体育館（陸上競技場）



内灘町議会

※ホームページに関連記事（視察レポート）

— 目次 —

4
6月会議

(仮称)

地域防災センターいよいよ着工(緑台地区)

6
討論!

6
賛否の分かれた議案一覧

7
委員会レポート(6月)

8
視察レポート 新友好交流都市訪問

9
一般質問 5人が登壇

15
ありゃーどうなったがいねー

16
突撃! 街かどインタビュー

団体シリーズ③ 文化協会 辺本良治さん



向栗崎小学校プール授業

表紙のことは

「夏だ! プールだ! はじける笑顔」

夏休み直前の猛暑日、向栗崎小では1・6年生
合同のプール授業が行なわれ、6年生の大きな
背中に乗って嬉しそうな1年生の笑顔が輝い
ていました。

いよいよ着工

平成30年内灘町議会6月会議が開催され、平成30年度補正予算のほか条例と請負契約・財産の取得・選挙など計13件を審議し、全て原案のとおり承認・可決しました。平成30年度一般会計では、1億9621万円を減額し、総額94億6679万円になりました。

※イメージ

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車
財産の取得 6804万円

屋内温泉プール改修工事
契約の締結 7992万円

専決処分

国民健康保険特別会計(第1号)
9100万円増額、総額27億
3600万円。

補正予算

一般会計(第1号)

(賛成9人 反対2人)
1億9620万8千円減額、
総額94億6679万2千円。

公共下水道事業特別会計(第1号)

(全員賛成)
6117万1千円増額、総額
16億5587万1千円。

協定の締結

のと里山海道(仮称)白帆台
インターチェンジ建設工事に
関する基本協定締結

(賛成9人 反対2人)

協定金額 4億5000万円
工事場所 内灘町字宮坂地内
期間 平成30年度・32年度
相手方 石川県知事谷本正憲

条例改正

(全員賛成)

条例名は省略してあります。

税条例の一部改正

生産性向上特別措置法の規定により、地域中小企業設備投資を後押しするため、町が作成した計画に基づき行われた中小企業の一定の設備投資を固定資産税(償却資産)ゼロとするなどの改正。

本社機能立地促進のための固定資産税の特例に関する条例の一部改正

地域再生法・租税特別措置法の改正に伴う引用条項の整理。
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童健全育成事業の設備・運営に関する基準の一部改正により、放課後児童支援員の資格要件に「実務経験2年以上の者」「専門職大学の前期課程を修了した者」を加えるなどの改正。

道路線の変更(全員賛成)

白帆台公営住宅団地造成事業完了に伴う起点・終点の変更
路線名 白帆台61号線

6月会議
5日～13日

(仮称)

地域防災センター (緑台地区)

(仮称) 地域防災センター整備工事
契約の締結 1億1124万円

その他の主な事業

・コミュニティ助成事業助成金

250万円

室区 祭礼獅子頭、神輿台車等

・電算業務委託料

540万円

納税義務者等が地方税共通電子納税システム(エルタックス)を利用して、地方税の納付が可能となることから、税収納システムの改修を行なう

・浄化センター施設耐震診断業務委託料

2600万円

・浄化センター機械電気設備更新工事

3170万円

選挙管理委員補充員
向貴代治(新任 アカシア)
大徳茂(新任 大学)
長丸信也(新任 大清水)
島田睦郎(新任 鶴ヶ丘)



近田眞理子氏
(新任 鶴ヶ丘)



吉村洋子氏
(再任 大根布)



南歳幸氏
(再任 西荒屋)



山田克己氏
(再任 旭ヶ丘)

選挙
選挙管理委員
(全員賛成)

議案第46号
のと里山海道（主要地方道金沢田鶴浜線）（仮称）白帆
台インターチェンジ建設工事に関する基本協定の締結

（賛成9人 反対2人）

可決

反対

清水 文雄

この事業は全額町負担であり、将来の町政運営に大きな影響を及ぼす。近年、大型建設事業の連続だが、事業の選択と集中を行ない、建設事業中心の施策から社会福祉面を重視したソフト事業に転換を図るべきだ。

VS

賛成

磯貝 幸博

仮称白帆台ICは以前から議論され、ようやく形になってきた。町の悲願である北部開発を進める上で大事な始点になる。県との信頼関係を成就し、どうやったら町に賑わいをもたらすことができるかを論ずるべきだ。



ナディ



ウツチー

6月会議で賛否の分かれた議案一覧

議案	氏名	米田 一番	磯貝 幸博	七田 満男	太田 臣宣	生田 勇人	川口 正己	藤井 良信	恩道 正博	北川 悦子	東藤 満	清水 文雄	中川 達	南 守雄
議案第40号 平成30年度一般会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	—	×	欠	×	○	○
議案第46号 のと里山海道（主要地方道金沢田鶴浜線）（仮称）白帆台インターチェンジ建設工事に関する基本協定の締結について		○	○	○	○	○	○	○	—	×	欠	×	○	○

○は賛成、×は反対、欠は欠席、—議長は採決に参加しません。

5月会議 5月8日

専決処分の承認

平成29年度補正予算

（全員賛成）

各会計、事務事業費の確定などにより予算を減額しました。

一般会計

1億4674万7千円減額、総額107億8982万9千円。

公共下水道事業特別会計

874万2千円減額、総額16億4725万5千円。

新エネルギー事業特別会計

125万円減額、総額260万2千円。

国民健康保険特別会計

3536万2千円減額、総額32億8291万5千円。

後期高齢者医療特別会計

14万8千円減額、総額2億7303万3千円。

介護保険特別会計

8591万1千円減額、総額18億2371万4千円。

条例改正

（全員賛成）

条例名は省略してあります。

地方税法等の一部改正による、障害者・未成年者等に対する個人住民税非課税措置の所得要件引き上げ、たばこ税率の段階的引き上げなど。

国民健康保険税条例

地方税法施行令等の一部改正により、国民健康保険税賦課限度額を拡大。低所得世帯の均等割平等割にかかる5割・2割軽減の判定基準を拡大。

議会だよりモニター始まる

4月27日、委嘱状交付式を行いました。



2年間お願いいたします

産業・建設 常任委員会

風力発電所

存続か廃止か

◎中川 達 ○磯貝幸博 夷藤 満
北川悦子 藤井良信 生田勇人

その他の質疑・意見

問 鶴ヶ丘県営住宅から白帆台公営住宅（県営）への移転は優先されるのか。

答 移転を希望する場合は、20・21号棟から第1優先で、12・19号棟は第2優先となる。

問 管理者である室ほ場整備組合内の道路に関して、安心安全のため、町から管理指導を徹底しているか。

答 津幡署等と協議し、町道認定時まで誰でも入れるような状況としないよう組合長に申し入れた。

主な意見

度重なる落雷や部品消耗のため、修理に高額な費用をかけ続けてきた風力発電所。これまで売電収入で費用捻出を計画してきましたが、返済前の故障に、委員からは廃止を求める意見が続出し、執行部は平成32年度まで存続しないと建設補助金の一部返還を求められる可能性があること、解体費用が高額なことから調査検討したいと説明がありました。

■いずれ解体費用はかかる。大きな修理費をかけてきており、続けることはリスクが大きすぎる。

■雷が多い地域で、風車も被害を受けている。落雷や風切り音により近隣に被害を及ぼすこともあり得る。

■修理し存続しても、また故障する可能性が高い。将来に向け借金が膨らむだけだ。

■本来なら町のシンボルとして残す形が望ましいが、今後の費用を考えると、町民の合意がとれるのかを判断しないといけない。



止まっている風車

福祉・文教 常任委員会

児童虐待防止

町の相談連絡体制は

◎川口正己 ○七田満男 南 守雄
清水文雄 太田臣宣 米田一香

その他の質疑・意見

放課後児童健全育成事業

問 学童保育クラブの支援員の配置基準は。

答 平成27年度子育て支援法の一部改正により、現在7カ所の学童保育クラブに各1名以上、放課後児童支援員を配属している。残りの職員は高等学校卒業者等の場合、2年以上従事した後、県の研修を受ける。

一般会計

問 道徳教育推進事業委託金の事業内容容は。

答 毎年県から1校ずつ指定を受け、指定研究として授業開発の割当がある。ゲストティーチャーによる講演があり、今年は向栗崎小学校で実施する。

国民健康保険

問 県事業化された場合に累積赤字はなくなるのか。

答 現在1億5千万円程の累積赤字があり、平成30年度は黒字を見越した税率改正をした。県事業化後も毎年2千万円ずつ赤字を解消していく計画。



北部学童保育クラブ

新友好交流都市訪問

〔視察先〕 台湾竹北市
〔日程〕 5月15日～19日

昨年9月11日竹北市の何^{かんめい} 銓銘市長以下、行政や企業関係者など15名が来町され「友好交流の協議に関する基本合意書」が締結され、平成30年に竹北市を訪問し友好交流を締結することで合意しました。

今回の訪問は竹北市との友好交流都市の調印式への参加と竹北市の行政・産業・教育・文化・スポーツ施設などを視察する目的で、行政と議員、文化協会の計15名の代表団で訪問しました。



林議長と恩道議長

（調印式）

竹北市公所で何市長、林議長と議会を表敬訪問した後、国際友好都市協定締結の調印式に同席しました。

（文化・スポーツ）

新竹県立体育館視察

1万2千平方メートルの敷地に8千人の収容が可能。個人や団体が利用できる館内には球技場やプール、卓球室、健康センターなどが整備されていました。

新社区視察

社区とは公民館や町内会のような組織で、地域の方々でお菓子や弁当などを作り、子供たちや一人暮らしの高齢者などに提供していました。子供食堂や食育の参考になりました。



竹北中学校

（教育交流）

竹北中学校の英語と美術の授業参観

小学校から『話す英語教育』に取り組み、北京語や英語、日本語を話せる世代がすでに社会に出ています。美術の授業では芸術に特化したクラスがあり、実践的な授業が行なわれています。

（産業交流）

仁義市場・興安社区視察

新鮮な食材を提供しており、地域コミュニティの拠点となっていました。

新月砂丘視察・ボラ養殖所視察

内灘海岸と似ていて、3年計画で周辺を整備する予定と聞きました。養殖所は海に近く、海水を利用しており、ここで作られるカラスミは台湾ではトップクラスとのことでした。



新月砂丘

今後、議会では、竹北市との文化や教育および経済交流などの育成と具現化に努めていきます。

自治振興に寄与

石川県知事表彰

（5期以上在職）

清水 文雄 議員



石川県町村議会表彰

（11年以上在職）

生田 勇人 議員
藤井 良信 議員
恩道 正博 議員
北川 悦子 議員



一般質問 (6月7日)

市政も問う

5人が登壇

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行機関に直接問うものです。

しちだ みつお 七田 満男 10

- 蓮湖渚公園の充実を図れ
 - 公共施設のトイレについて
- ほか1問

しみず ふみお 清水 文雄 11

- 金沢港へのクルーズ客船の寄港をうちなだ町の賑わい創出にいかせないか
 - 視覚障がい者が横断歩道を安心して横断するために町内に音響式信号機を設置できないか
- ほか1問

きたがわ えつこ 北川 悦子 12

- 役場6階の展示コーナーの活用を
 - 介護保険改悪による影響は
- ほか1問

いそがい ゆきひろ 磯貝 幸博 13

- 「内灘町と竹北市との友好交流都市の締結に関する協定書」の締結について
- ブックポストの活用について

よねだ かずか 米田 一香 14

- 誰もが住みよいまちの実現に向けて
 - 町のにぎわい創出について
- ほか3問



町花ハマナス

蓮湖渚公園の充実を

町長 藤棚の設置を検討する



しちだ みつお
七田 満男

一般質問

問 町民夏祭り、体育祭、小学校の持久走、風揚げ、グラウンドゴルフやウォーキングなどでの利用が増えてきている。利用者からは日陰を兼ねた避雷と雨宿りができる四阿や藤棚などを増やしてほしいと声がある。また、遊具や野外ステージを設置し、スポーツやイベントだけではなく、多くの人々が楽しめる公園にすべきだ。

答 白山・立山・河北潟の風景や、花・樹木など四季折々の姿も楽しめる、デザインに配慮した公園づくりを目指す。また、藤棚で休憩施設が設置できないか今後検討する。現在、ステージの配置は仮設で対応しており、広場を有効に活用するため常設は難しい。子供用遊具は町会内の公園、恐竜公園、総合公園を利用願いたい。



日陰でひと休み



行列問題は水に流せない

行列のできるトイレ

問 イベント開催時、施設のトイレで順番待ちの長蛇の列に悩まされたことのある女性は多いのではないか。

公共トイレを洋式化や快適化を目指す動きが広がっているが、この行列問題はほとんど改善されていない。

その原因は公共トイレの多くが左右対称のつくりで、男女で同じ面積のトイレを作れば、全て個

室の女性用トイレは男性用よりも便器の数が少なくなる。さらに利用時間が長いため女性側に列ができるのは当然だ。トイレの新設や改修をする場合は便器の男女比率を1対2とするべきだ。

答 トイレの整備方針を男女比率1対2とする目標値を定めている山口県萩市を参考にしたいと考えている。

その他の質問

問 児童への不審者声かけ事案が発生した。対応とCAPの実施は。

答 情報共有と注意喚起をし、29年度向栗崎・清湖小学校で実施した。

※CAP

子供への暴力防止プログラム。暴力から逃れる方法、自分自身を守るための知識や具体的な技術を身につけることを学ぶ。



しみず ふみお
清水 文雄

クルーズ船の観光客誘致を 県と協議をする 町長

一般質問



増加する金沢港へのクルーズ船寄港

問 金沢港へのクルーズ船の寄港数は年々増加しており、県は2020年に向け無量寺埠頭周辺を大改築する計画が進んでいる。町はクルーズ船の寄港に着目し、観光客誘致を行なってきたか。

答 これまで誘致活動をした実績はない。今後は石川県観光戦略推進部などと協議をしていきたい。

問 内灘海岸、河北潟、風と砂の館、米軍射撃場・着弾地観測所といった内灘闘争跡地など、町の特色を生かした賑わい創出への決意を聞く。

答 クルーズ船増加や、※東京オリパラ開催で県内にも大勢の外国人観光客が訪れるチャンスを出すことなく、観光資源をさらに磨き上げ、賑わい創出につなげていきたい。

音響式信号機

問 視覚障害のある方が、音響式になっていない信号機を渡るときに苦労されている。
町内では音響式信号機はどこに、何力所設置されているのか。

答 現在は医科大通りに11力所、そのほか内灘交番前、大根布1丁目、千鳥台海浜道交差点に各1力所の計14力所に設置されている。



視覚障がいのある人が安心して横断するために

問 千鳥台町会内を縦断する準幹1号線の交通量は増加している。
誰もが安全・安心して暮らせるまちづくりのために音響式信号機を増設できないか。

答 視覚障害者の交通安全や社会参加を鑑みると、音響式信号機の設置は重要と考える。町会要望も踏まえ、県公安委員会に要望したい。

その他の質問

問 録画中継に手話通訳を導入せよ。

答 先進自治体の実態を参考に研究する。

※東京オリパラ

東京オリンピック、パラリンピック

町民ギャラリーを残せ

町長 文化会館などの活用を



きたがわ えつこ
北川 悦子

一般質問

問 農林水産省北陸農政局から、河北潟関係の大規模改修工事のため、13年間ほど役場6階を河北潟分室として使用したいと要望があり、国が認可すれば町は受託する方針と聞く。

答 工事は総額約390億円規模の国営事業で、河北潟の排水施設の機能回復、周辺地区の災害未然防止、農業生産の維持や経営安定につながる。国との連携強化や施設の有効活用の観点から、事務所として貸したい。文化芸術活動の普及や鑑賞の場として庁舎1階ロビーや町民ホール、文化会館を活用していただきたい。



うちなだグローバルアートショー 2018



笑顔あふれる「シニアライフ講座」

介護保険

問 昨年4月スタートの介護予防・日常生活支援総合事業の現状と分析をどのようにしているか。

症状の悪化によると推測される。

問 総合事業の問題点や課題を踏まえ、介護を必要とする人が町で安心して暮らせるよう支援せよ。

答 更新の要介護認定者364名のうち、要介護度が軽くなった方は42名、重くなった方は90名。軽くなった方の多くは、治療やリハビリの結果、回復されたことによるもので、重くなった方の多くは疾患の重篤化や認知

答 一人でも多くの高齢者が総合事業による介護予防事業に参加され、元気に自立した日常生活を営むことができるよう、今後も支援をしていく。

その他の質問

問 交通事故多発地点の対処は。

答 路面での標示、ミラー設置等安全対策を講じている。



いそがい 磯貝 ゆきひろ 幸博

台湾竹北市との交流方針は 官民一体で町の発展を図る 町長

一般質問



友好の具現化に期待

問 台湾竹北市を訪問して、どんな印象だったか。

答 農業のほか、IT産業を主産業として目覚ましい発展を続けているなど、活力と魅力にあふれた都市だった。
また、海岸線に沈む夕日や砂丘に現れた風紋がどこことなく内灘の風景と重なり合い、竹北市の皆様温かい人柄にも触れとても親しみを覚えた。

問 友好都市締結した竹北市との今後の交流方針を問う。

答 まず、内灘町の次世代を担う中学生を竹北市へ派遣し、グローバル人材の育成につなげたい。
また、官民一体となった人的交流や企業の誘致を行ない、地域産業と地域経済の活性化を図るなど積極的に友好交流に取り組んでいきたい。

答 利用者が減少し月平均100冊ほどの利用にとどまるため、これまで6カ所廃止をした。
残る町立図書館以外のブックポストは、廃止も含めて検討していく。

問 図書館で借りた本の返却に、ブックポストが利用されている。10カ所あったが減少し、傷みも激しいので修繕や更新が必要だ。

ブックポスト

答 図書館のイベント情報の発信や特設コーナーの設置等を積極的に行ない、今後利用者の増加に向けて取り組む。

問 運転免許証返納者も今後ますます増えていく。改めてブックポストの利用周知を行ない、利用者増加に努めよ。
どうしても廃止するならば、図書館の利便性向上や設備の更新を図れ。



まだまだ頑張るポストたち



モーさん



ミツバちゃん



よねだ かず
米田 一香

手話言語条例制定を 町長 積極的に検討する

一般質問



町長挨拶時に同時手話通訳（社会福祉大会）

問 町各種大会や講座に手話通訳士を配置した実績は。今年度、事業を拡大し配置せよ。

答 平成29年度世界の風の祭典、町福祉大会、町自立支援協議会会議に派遣した。平成30年度は要望のある行事にできるだけ派遣する。

問 平成30年4月より県で手話言語条例が施行さ

れたことを踏まえ、町でも手話言語条例制定と、手話の普及や手話奉仕員や手話通訳者、手話通訳士の育成支援に積極的に取り組むべきだ。

答 石川県と県内5つの市が平成30年3月までに手話言語条例を制定しており、他4つの市が準備を進めていると聞いている。町でも積極的に検討する。

賑わい創出

問 内灘海岸周辺の整備の方向性と現状は。

答 9月に内灘海岸賑わい創出事業基本構想を取りまとめ示す。
トイレやシャワー室など利便性向上やイベントによる海岸活性化などと協議している。

問 内灘駅周辺の再開発の方向性と現状は。
商工業の新拠点、起業

支援の場とせよ。

答 現在、朝夕の混雑や駅周辺のにぎわい空間の不足など課題がある。
内灘駅周辺整備事業基本構想案も議論を進め9月に示す。

人や公共交通を優先に、安全に乗り換えができ、さらに交流やにぎわい機能を持たせた「内灘らしさ」を感じる駅前空間を目指す。

その他の質問

問 働く女性の家を特色とし女性のコミュニティ活動を支援せよ。

答 多くの市町で廃止されてきており、施設のあり方を検討する。

問 学校教育における手話教育の現状は。

答 小学校では4年生を対象に手話教室を実施している。

問 大人の麻疹風疹の任意予防接種事業の助成拡大を求める。

答 金沢市の取り組みを参考に調査研究する。



夏の内灘海岸

追跡

ありゃ～
どうなったがいね～

誰もが使いやすい コミュニティバスの検討を

バス停まで遠い地域や交通空白地域の解消、地域の格となる場所へのバス停設置など地域要望や町民の声を受け止め、検討を。

平成28年9月会議

よねだ かずか
米田 一香

答 弁

見直しを検討している

現在、町会要望等を精査し、交通空白地帯解消を目指し、見直しを検討している。町民に広く親しまれ、利用しやすい運行を目指す。

その後

平成30年4月 ルート改正で利便性が向上

朝夕の通勤通学ライナーと、にし・ひがしルート新設、全町・南部ルートが千鳥台公民館経由へ変更された他、全町ルートが白帆台2丁目方面に延伸されました。



少年の家（向栗崎）に新設されたバス停

蓮湖渚公園をウォーキング できるように整備せよ

若者から高齢者まで安心して歩けるように、現在、碎石が敷かれたところを舗装し整備する考えはないか。

平成28年12月会議

いとう みつる
夷藤 満

答 弁

今後、検討したい

安全で安心して、素晴らしい景色を眺めながら散策できる園路となるよう舗装の材質や財源を検討したい。

その後

平成29年1月 ウォーキングコース完成

多目的広場外周の園路を歩きやすいようにアスファルト舗装に整備した1周630メートルのウォーキングコースが完成。



歩きやすくなりました



何が大切……？



議会を傍聴しませんか

9月会議の一般質問は**9月6日午前10時**からの予定です。詳しくは、町ホームページをご覧ください。

傍聴の受付は当日、庁舎3階エレベーター横で行なっています。

議会事務局 TEL286-6715

広報対策特別委員会

委員長 米田 一香
副委員長 生田 勇人
委員 磯貝 幸博
委員 七田 満男
委員 川口 正己

台湾と日本は助け合う伝統が確立しています。議会でも、台湾竹北市と真の友人になれるよう交流を深めてまいります。

〔七田 満男〕

突撃！

街かどインタビュー

町の団体シリーズ ③



今回は、文化協会の事務局長、^{なべもとよしはる} 辺本良治さんにお伺いしました。

◆協会にどんな事業がありますか？

○代表的な事業はアカシアアロマチック祭・総合美術展・総合文化祭です。町の美術、芸能、教養等の文化水準を高め、その発展振興につとめて、文化団体の連絡提携を図り、親睦を高めています。

◆協会の素敵なところをご紹介ください。

○各協会のなかで個人でも教室を開催するなど、幅広い活動をしていることです。現在ある施設を活かす一つ一層の文化の発信をしていきたい。

◆これからの目標や課題などを教えてください。

○来年、40周年記念事業が計画されていて、どう成功に導くかが重要です。今、協会は若返りを迫られる時期にきています。



どうすれば若者が参加しやすくなるかを熟慮し、例えば作品を通して会話ができるような空間、わくわくできる体験型の美術展などを今後の課題にして文化協会を発展させていきたいです。

◆町や議会に望むことがあればお話しください。

○高齢化によって消えゆく文化の継承は、町が主体となつて歴史の保存活動をして欲しいものです。

◆ありがとうございました

インタビュー

磯貝 幸博

編集後記

西日本豪雨により被災した皆様に心よりお見舞いと一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

7月9日台湾政府は被災者支援のために2000万円を寄付。「あらゆる支援を用意」すると発表しました。

日本ではあまり知られていませんが、東日本大震災の際、どの国よりも多額の200億円を超える義援金を届けてくれました。

それは、自然災害が起きるたびに支え合ってきた日本が深刻な被害を受けたことを案じてのことでした。

台湾と日本は助け合う伝統が確立しています。

議会でも、台湾竹北市と真の友人になれるよう交流を深めてまいります。

〔七田 満男〕